

令和4年度とみやわくわくミーティング

テーマ：

ゼロカーボンシティと持続可能な開発



PROFILE



宮城大学 事業構想学群 准教授
地域連携センター副センター長

佐々木 秀之

学 位：博士（経済学）

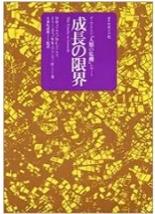
専門分野：地域経済学、日本経済史、ソーシャルビジネス

所属学会：日本計画行政学会、日本NPO学会、東北経済学会、
市場史研究会等

略歴

1974年仙台市生まれ。岩手大学農学部卒業後、商社勤務等を経て、東北学院大学大学院経済学研究科へ社会人入学。2011年3月修了、博士（経済学）。東日本大震災の復興過程では、起業家支援・復興まちづくり計画の策定等に従事。2016年より現職。

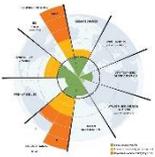
持続可能な開発を考える



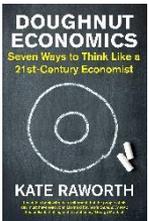
成長の限界
1972
ローマクラブ



Our Common Future
1987
国連ブルントラント委員会



プラネタリーバウンダリー
2009
ヨハン・ロックストローム



ドーナツ・エコノミクス
2012
ケイト・ラワース



2030アジェンダとSDGs
2015
国連

Sustainable × Development
持続可能な 開発 (成長・発展)

環境

社会

Sustainable Development
将来の世代のニーズを満たす能力を
損なうことなく、今日の世代のニーズ
を満たすような開発

人類が発展・繁栄し続けること
ができるための9つの環境要素
間の境界線を提示

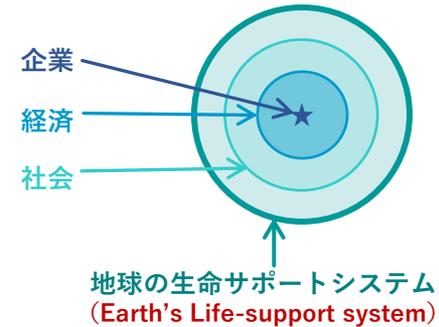
人類が繁栄できる環境的に安全
で社会的に公正な範囲

Sustainable Development

経済



(B.トンプソン&E.ノリス著 2022)



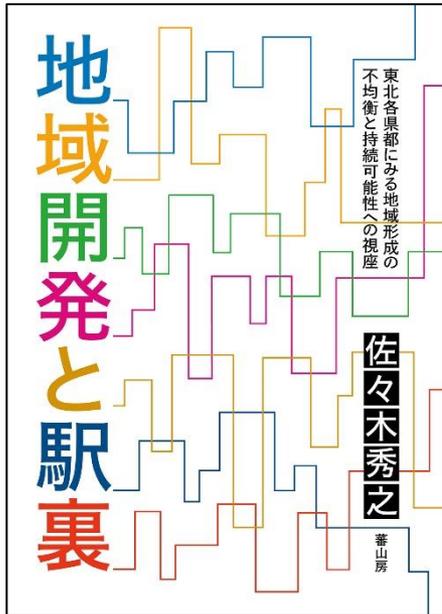
Goals (目標)

経済の観点を含めた議論が必要
サーキュラーエコノミー

(参考) Stockholm Resilience Centre webサイト「Planetary boundaries」、KATE RAWORTH web
サイト「What on Earth is the Doughnut?…」、<https://www.kateraworth.com/doughnut/>、外務省
webサイト「持続可能な開発のための2030アジェンダ」(2022/12/10最終閲覧)

地域経済学：持続可能な地域開発のあり方

「駅裏」の成立からその後の展開を、日本経済史の観点から、取りまとめた。駅裏は、資本主義的経済発展の過程で誕生した、裏側とされる存在である。 持続可能な開発を考える上では、裏とされる側を受け止めることが重要となる。



TXO.記事ID:KZ01804160Y0Y10YX00001 (C)河合新報社

仙台市東八郷丁〈国宮城野区福間〉の片倉船台製糸所。東北各地から集る繭め、1935〜35年に稼働した—1988年ごろ

仙台歴史の陰 探る

駅裏 130年

佐々木秀之 著

宮城大・佐々木准教授

「街の負の部分支えた」

工場・軍隊・性風俗

組織・人材

地域づくりを担う人や組織に関する実践研究。日本におけるまちづくりにおいては、中間支援人材によるマネジメントが必要。



地域経営

社会起業家や社会的企業に関する実践研究。社会や地域の課題をソーシャル・ビジネスの手法によって解決を図る。



地域政策

協働まちづくりや地域観光に関する実践研究。コミュニティ施設の運営にも範囲が広がっている。



研究室のプロジェクト（地域資源マネジメント研究室）

Empathy Project Management and Action



地域資源の分類

固定資源 1.地域に固定されているもの 2.地域内で活用、消費されるもの	地域特性資源	気候的条件	降水、光、温度、風、潮流 等
		地理的条件	地質、地勢、位置、陸水、海水 等
		人間的条件	人口の分布と構成 等
	自然資源	原生的自然資源	原生林、自然草地、自然護岸 等
		二次的自然資源	人工林、里山、農地 等
		野生生物	希少種、身近な生物 等
		鉱物資源	化石燃料、鉱物素材 等
		エネルギー資源	太陽光、風力 等
		水資源	地下水、表流水、湖沼、海洋 等
		環境総体	風景、景観 等
	歴史的資源	遺跡、歴史的的文化財、歴史的建造物、歴史的の事件、郷土出身者 等	
	文化・社会資源	伝統文化、芸能、民話、祭り、イベント、スポーツ 等	
	人工施設資源	構築物、構造物、家屋、市街地、街路、公園 等	
	人的資源	技術資源	労働力、技能、技術、知的資源 等
		関係資源	人脈、ネットワーク、相互信頼、ソーシャルキャピタル 等
情報資源	知恵、ノウハウ、電子情報、ブランド、評判、制度、ルール、愛着、誇り 等		
流動資源 地域内で生産され、 地域外でも活用、消費されるもの	特産的資源	農・林・水産物、同加工品、工業部品・組立製品 等	
	中間生産物	間伐材、家畜糞尿、下草や落葉、産業廃棄物、一般廃棄物 等	

■ 原生的自然資源・二次的自然資源・野生生物 ・ 鉱物資源・エネルギー・水資源・環境総体



ブナの原生林（白神山地）

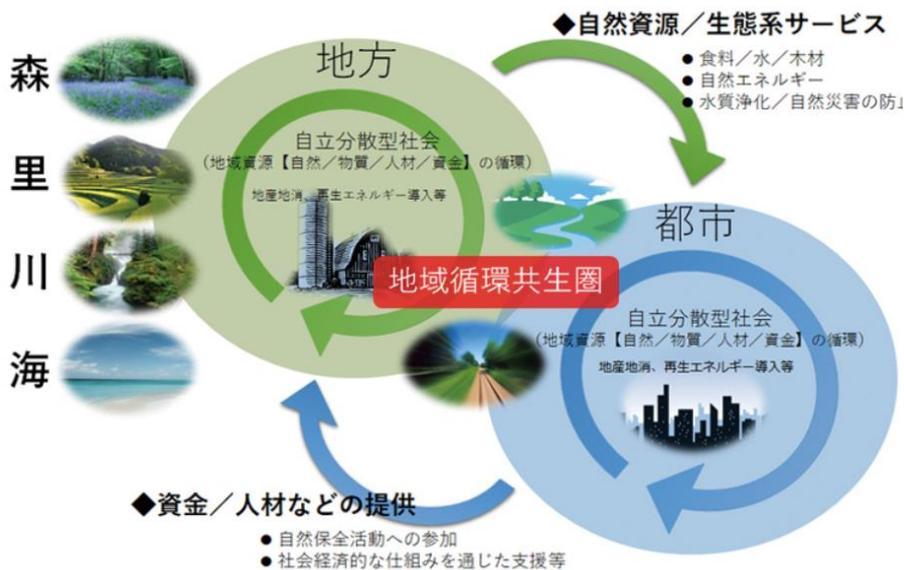


棚田の風景（宮城県丸森町、大張地区）

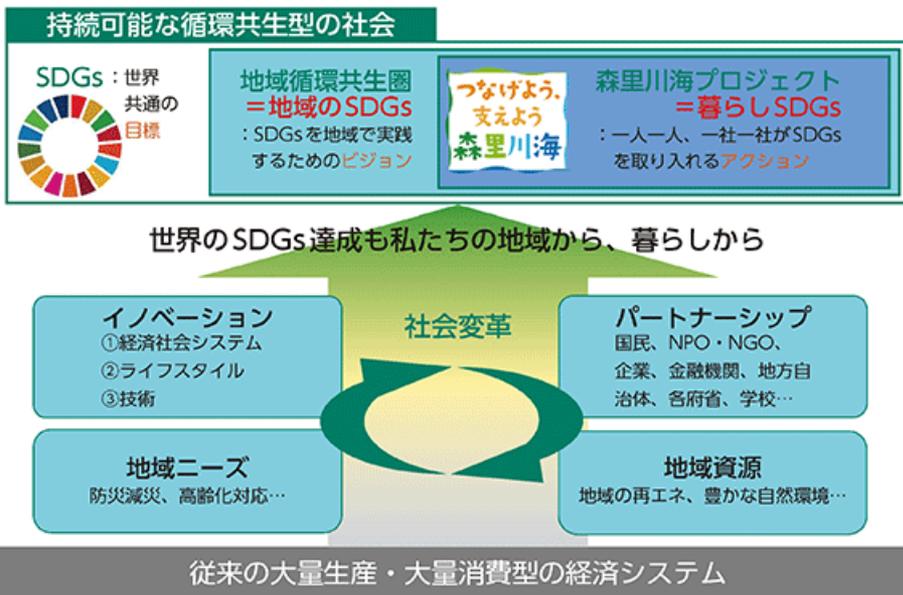


ソーラーシェアリング

思い浮かぶ「自然資源」と講義科目



地域循環共生圏とは ～地域が自立し、支え合う関係づくり～

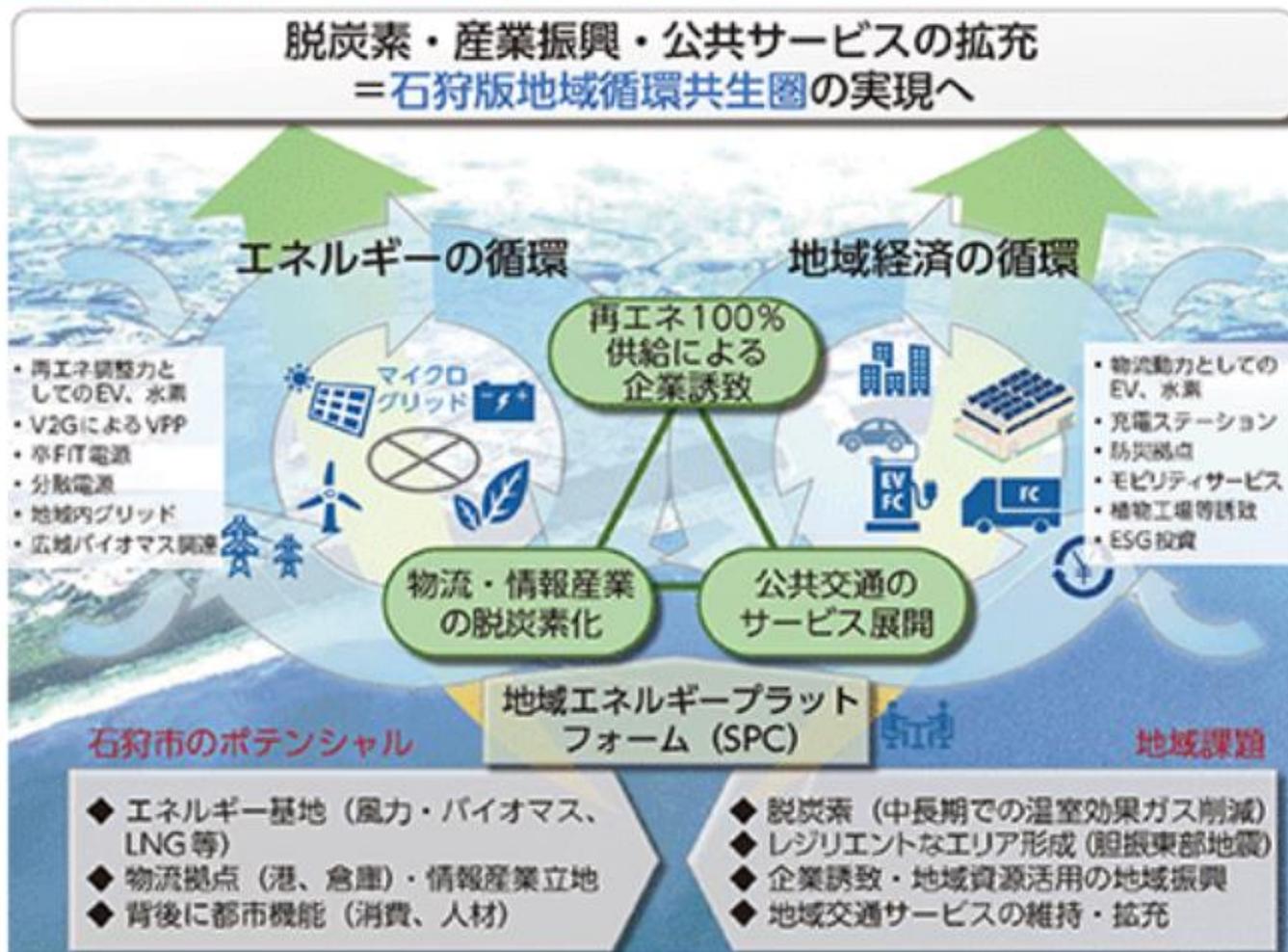


資料：環境省

出典：平成30年版 環境省、環境・循環型社会・生物多様性白書

例：北海道石狩市

目指す地域循環共生圏の姿（目標年度：2040）



現在：協働・共創・協創の仕組みづくり

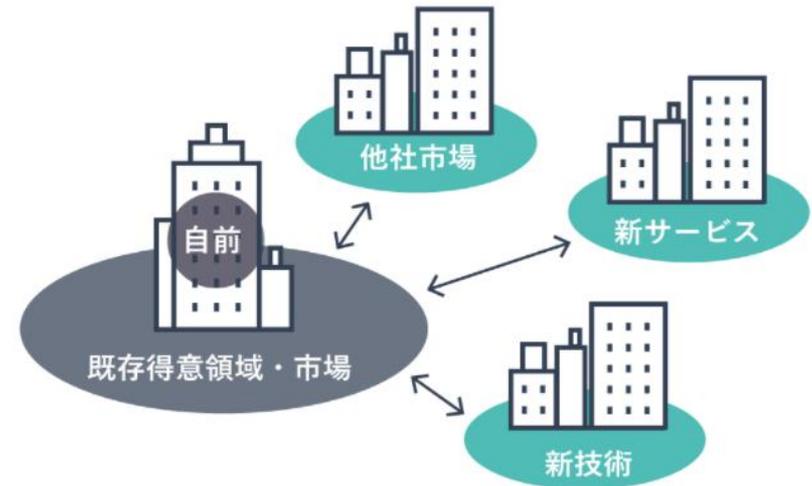
◇オープンイノベーション

クローズドイノベーション



社内の技術・アイデアのみで製品開発を遂行

オープンイノベーション

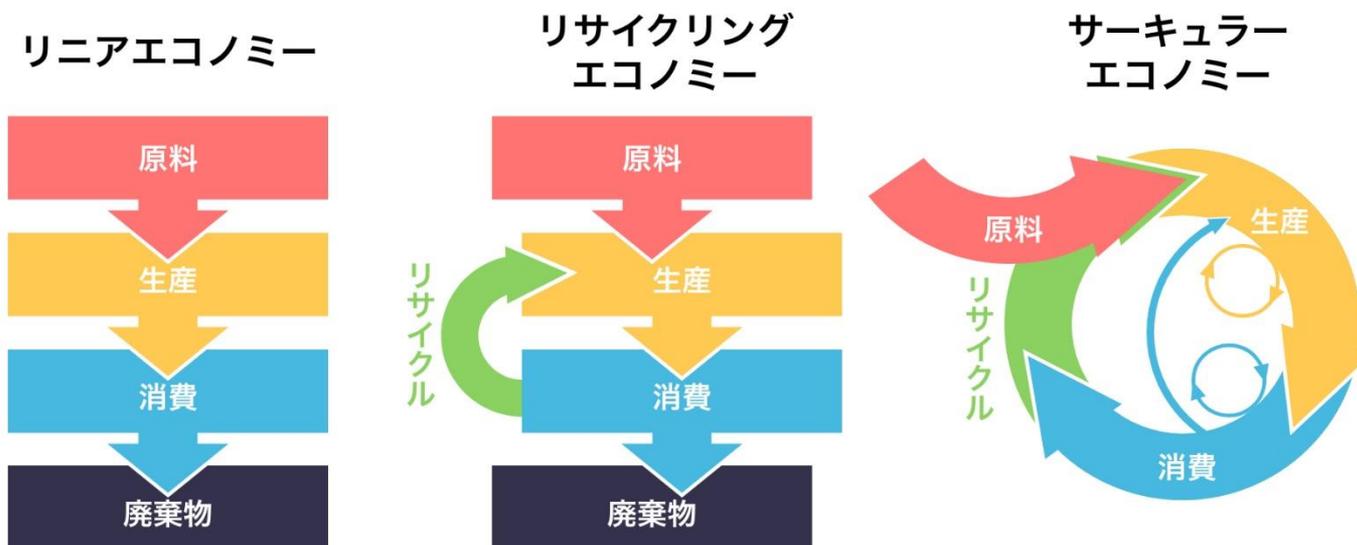


社内外から幅広く技術・アイデアを取り入れ、
自社では生み出せない新たな価値を創出

引用：<https://eiicon.net/about/openinnovation.html>

◇自然界から学ぶ新しい経済・社会モデル

- ・ 元来、自然界には「廃棄物」という概念がなかった
- ・ 産業革命以降、数々の人工物を生み出し、それが廃棄物となる
- ・ 廃棄を出さない事業モデル、仕組みづくりが重要



参考 インタビュー記事：歴史・人的資源を生かす



夢ナビは、さまざまな言葉をデータベースから検索・閲覧し、将来の進路を決める“きっかけ”を探し求める方のリクエスト登録 | お問い合わせ |

テレメール進学サイト

TOP

夢ナビとは

新着! 夢ナビ講義

学問分野検索

関心ワードカテゴリ検索

関心ワード50音検索

ランダム関心ワード

関心
ワード

地域、地域資源、まちづくり、再開発、住民

社会学 社会福祉学

TOPへ戻る

講義No.08648

歴史の中に未来を見出す～コミュニティ主体の地域開発の手法とは?～

歴史も人も、地域資源!

地域の土地の整備や再開発によって、まちの姿が大きく変わることがあります。こうした地域開発を行うとき、「地域資源」をどう生かしていくのかが問われています。

地域資源には、自然環境や社会、産業、文化、教育などの人文的な環境、自然を利用する過程で人々が培った知恵などが含まれます。この地域資源を、地域開発に生かし、持続可能なまちづくりを展開するための研究が進んでいます。

住民の主体的関与が、持続可能なまちをつくる



興味があれば、この学問が向いているかも!

地域創生学



宮城大学
事業構想学群 地域創生学
類 准教授
佐々木 秀之 先生

メッセージ

私の担当する「地域資源論」の講義では、東北にある豊かな自然や文化をリサーチし、その活用策を議論していきます。関連する「コミュニティ・プランナー (CP)」の講義では、フィールドワークを通して、地域社会の抱える課題を見出し、実践的に解決策を導きます。

座学やデータに加えて、現場でのリアルな体験を積み重ねることによって、地域社会に貢献できる力を身につけていきましょう。

先生の学問へのきっかけ

土木関係の仕事をしていた父の影響もあり、公務員として土木の仕事をしようと考えていました。しかし、インターンシップに行った先で

参考、インタビュー記事：“自分”資源を生かす

地域資源に「自分資源」をかけ合わせ、半歩踏み出してみよう

宮城大学事業構想学群 准教授 佐々木 秀之 氏 インタビュー

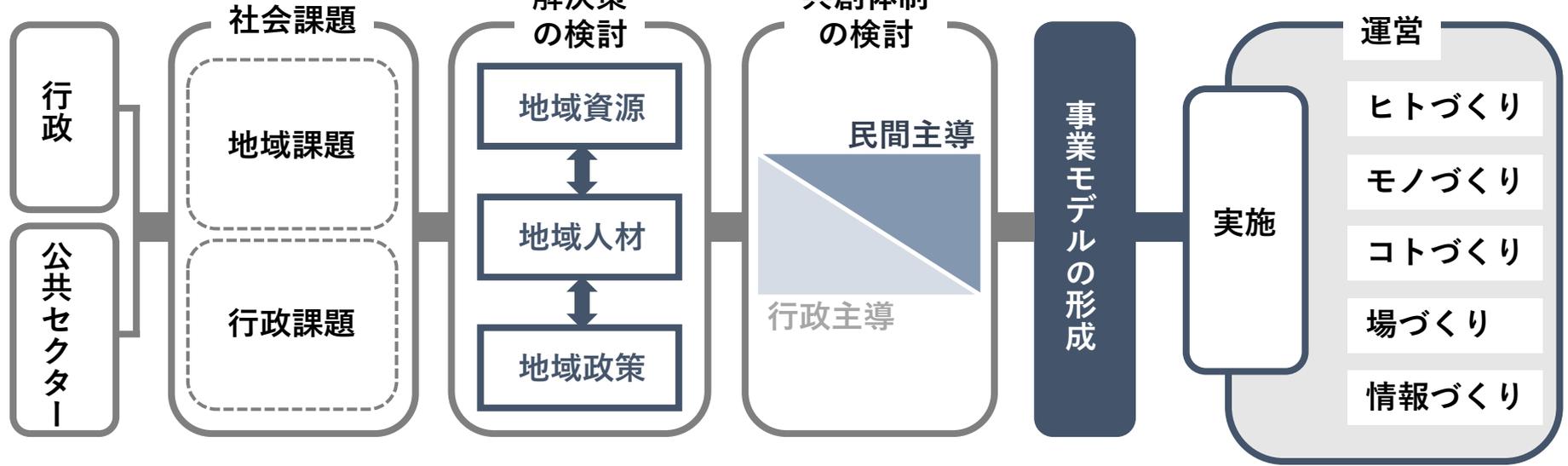


「オープンイノベーションで東北・新潟をもっとおもしろく」を掲げ、東北6県および新潟の東北圏で新規事業を興し、東北圏をもっと元気にしたいという熱意をお持ちの方に出会いと学びの機会を提供する「BizDev Meetup!」。2022年度もさまざまなコンテンツを展開していきます。

出典：BizDev Meetup! webサイト「地域資源に「自分資源」をかけ合わせ、半歩踏み出してみよう」
<https://bizdev-meetup.jp/news/interview/1> (2022/08/24参照)

住民参加型のまちづくりにおける価値共創プロセス

推進主体



着眼

編集

価値形成・価値伝達

